

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 筑波大学附属駒場高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 154-0001  
東京都世田谷区池尻4-7-1

E-mail : \_\_\_\_\_

Website : http://www.komaba-s.tsukuba.ac.jp/home/

児童生徒数：男子 489 名 女子 0 名 合計 489 名  
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。  
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

筑波大学附属学校全体として、三拠点構想というものを掲げている。

「先導的教育拠点」「教師教育拠点」「国際教育拠点」の三点であるが、特にユネスコスクールのコンセプトに沿うものとして、国際教育拠点としての取り組みを重視している。

国際交流事業としては、必ずしもユネスコスクールという枠にとらわれず、本校独自に台湾と韓国の学校交流しており、来年度以降も継続する予定である。

また、国際科学オリンピックなどの参加者も増えている。

通常の授業では、国際理解については地理Aや世界史Aの授業の中で実践を行っている。

地域の連携などを通じてのネットワークの構築として、世田谷区教育委員会との共催、目黒区教育委員会からの後援を受け、筑駒アカデメイアという社会貢献プロジェクトを実施している。3つの講演会と約10の公開講座を開催し、小学生から社会人まで、幅広い方々を対象に実施している。

このほか、本校の伝統として高校1年生は「総合的な学習」において、水田実習を行っており、毎年改善を重ね食文化に対する理解を深めている。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )